

地域共生社会の 実現に向けた ソーシャルワーク 実践力養成研修



2023
11.26 (日)
9:30 ~ 17:30

開催方法 Zoom ミーティング
オンライン・ライブ研修
定員 50名 (最小催行人数 36名)
参加費 会員 6,000円 一般 12,000円

参加申込みは
QRコードから



10月31日(火)までにお申し込みください。

九時三十分
開会挨拶 岡本和久
兵庫県社会福祉士会 会長

九時四十分

「地域共生社会とソーシャルワーク
〜重層的相談支援体制整備事業の理解と
これから社会福祉士に求められる役割〜」
講師 土屋幸己(所属 コミュニティネットハピネス代表理事・静岡県社会福祉士会)

十一時十五分

「排除をつくらない相談支援体制の構築」
講師 田脇智子(兵庫県社会福祉士会・地域包括支援センター支援委員会)

十二時
昼食

十三時

「アドボカシーと意思決定支援」
講師 谷口智昭(兵庫県社会福祉士会・生活困窮者支援委員会委員長)

十三時四十五分

「地域で支える体制の構築」
講師 土屋幸己(所属 コミュニティネットハピネス代表理事)

十四時四十五分

「地域アセスメントとネットワーク構築」
講師 松浦裕一(兵庫県社会福祉士会・会員)

十五時三十分

「社会資源の活用・開発」
講師 石古恵子(兵庫県社会福祉士会・会員)

十六時三十分

「研修の振り返りと明日からの実践に向けて」
土屋幸己 谷口智昭

十七時三十分

閉会挨拶 福井良江
兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター理事



地域共生社会の実現に向けた ソーシャルワーク実践力養成研修

本研修の趣旨と概要

厚生労働省社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会がとりまとめた報告書「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」（2018年3月27日）において、地域共生社会の実現に向けて社会福祉士には、包括的な相談支援体制及び住民主体の地域課題解決体制を構築するための実践力が求められることが明記された。当報告書をふまえ、社会福祉士養成カリキュラムの改正が進められ、2021年度から導入された。同時に、現任の社会福祉士には、速やかに地域共生社会の実現に資するソーシャルワーク専門職として役割を果たしていくことが求められており、現任の社会福祉士が地域共生社会の実現に向けて新たに求められる役割や機能を果たすことができるよう、本研修を開催する。

本研修参加条件

本研修では、現在の社会福祉士であることとともに、研修受講までに、e-ラーニング講座「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修」の視聴が必須です。視聴終了の確認については、e-ラーニング視聴後に発行できる「受講証明書」の提出等が必要となります。

※ e-ラーニング視聴は一部の県士会会員および非会員は有料となります

事前学習 オンデマンド動画（e-ラーニング講座：410分）

研修単位 日本社会福祉士会生涯研修制度独自の単位 12時間

科目名	e-ラーニング講座
当研修の全体像これから求められる社会福祉像	約11分
地域共生社会の意義・地域共生社会の実現において求められる機能	約45分
地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク	約42分
排除をつくらない相談支援体制の構築	約45分
アドボカシーと意思決定支援	約41分
地域で支える体制の構築	約44分
地域福祉の計画づくり	約44分
地域アセスメントとネットワーク構築	約47分
社会資源の活用・開発	約48分
ソーシャルアクション	約43分

